

木くばり

木の雑学



No.
187

発行
2020-9月号

株式会社 ナガイ内

住まい教室 金谷教室

家の中に居るだけで森林浴効果！

ストレスの緩和とリラックス



近頃はコロナ禍で外出もままなりません。木材を使った住宅は、家の中に居るだけで森林浴の効果があるといわれています。森林を歩いていると、さわやかな空気が広がり、リラックスして心地よい気分になります。この木の香りは「フィトンチッド」と呼ばれる、木が自ら作り出して発散している揮発性物質です。主な成分はテルペン類と呼ばれる有機化合物で、このテルペン類を浴びることを森林浴といいます。「フィトンチッド」は、動くことのできない樹木が、外敵から身を守るために作り出している物質で、昆虫や動物に食べられないための接触阻害作用・病害菌に感染しないように殺虫、殺菌を行う作用などがあります。森林には、悪臭の元となる枯れた木や動物・昆虫等の死骸などの堆積物があるにもかかわらず、爽やかな空気が広がっているのは、フィトンチッドの持つ抗菌性や消臭効果によるものです。また、人間に対しては自律神経を安定させる効果があるため、ストレスをやわらげ、心身をリフレッシュさせます。これがいわゆる森林浴効果といわれているものです。そしてこの効果は、木が木材になっても変わることなく私たちに深くくつろぎを与えてくれるのです。

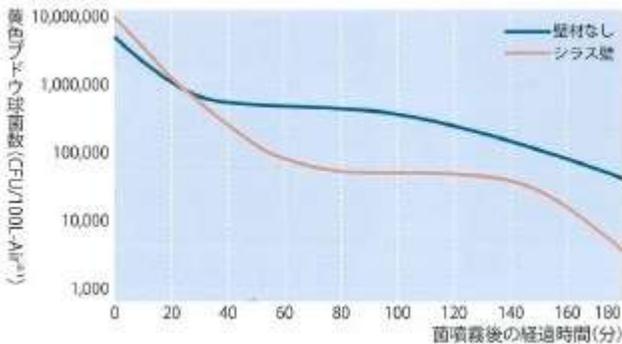
新型コロナウイルスと住まいの環境

中霧島壁の効用

シラス壁の空間浮遊菌に対する除菌効果

一般社団法人 北里環境科学センターでの空間浮遊菌に対する除菌効果の試験においても、シラス壁が黄色ブドウ球菌に対する除菌効果を有する結果が得られています。(試験年月:2004年9月)「保育園の児童が1人もインフルエンザに感染しなかった」など、ウイルスへの抵抗性を示唆するお客様の声も多く、ウイルスへの効果も期待されています。これらの性能や実績については、日本医療福祉設備学会(2018年11月)でも報告し多くの医療関係者に注目されました。

●空間浮遊菌に対する除菌効果



※1 100L 空気中の菌数です。壁材なしとシラス壁の3時間後の差はおよそ1桁ですが、それは座って作業している場合と急ぎの走行をしている場合に発生するホコリの量の違いに相当します。

シラス壁の抗菌性試験

シラス内装材の持つ細菌抑制について試験を実施。大腸菌に対し、1日で検出下限以下となりました。

抗菌性試験(大腸菌数試験)生菌数	開始時	1日後	2日後	3日後
薩摩中霧島壁、中霧島壁ライトいずれも	2.6×10^6	$< 10^2$	$< 10^2$	$< 10^2$

(試験機関:神奈川県産業技術総合研究所、試験年月:2003年8月)

※2 試験方法による検出の最低値を検出下限と言います。今回の結果は、生菌数が初期値に対して4桁以上下がっており、シラス壁表面で細菌の増殖が抑制されている、つまり抗菌性があることが確認されました。

～「高千穂シラス®研究資料」より～

中霧島壁における抗ウイルス作用について研究始動

シラス壁の抗ウイルス作用について検証するため、国立高等専門学校機構野口教授は、コロナウイルスの増殖に対する抑制効果について2020年7月より研究を行うことになりました。この研究に期待するとともに注視していきたいものです。

ホームページアドレス <https://www.e-house.co.jp/nagai/>

㈱ナガイ 島田市牛尾510-2 Tel (0547) 45-3501